

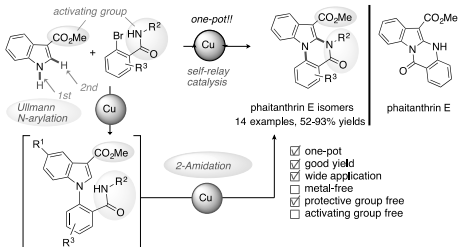
# 28PA-am005S

## Phaitanthrin E 異性体の合成

○高橋 侑加<sup>1</sup>, 松原 裕希<sup>1</sup>, 山田 康司<sup>1</sup>, 阿部 匠<sup>1</sup> ( <sup>1</sup>北医療大)

【目的】 これまでに我々は、ラン科植物アルカロイド **phaitanthrin E** の簡便合成を報告している。(1) 今回、医薬化学研究への展開を視野に入れて、**phaitanthrin E** 異性体の合成を検討した。

【方法・結果】 種々検討した結果、炭酸セシウムと臭素化銅(I)存在下、インドールとベンズアミドのジメチルスルフィド溶液を加熱還流したところ、**phaitanthrin E** 異性体を良好な収率で得ることができた。本反応を用い、市販原料からワンポット実験操作で



**phaitanthrin E** 異性体を合成できた。基質適用範囲の拡大を目指して検討中であり、本年会において併せて報告する予定である。

(1) Abe, T.; Yamada, K. *Org. Lett.* **2016**, *18*, 6504-6507.

(2) Abe, T.; Takahashi, Y.; Matsubara, Y.; Yamada, K. *Org. Chem. Front.* **2017**, *4*, 2124-2127.